

---

---

**令和5年度 国立大学法人お茶の水女子大学  
施設設備に関する自己点検・評価報告書**

---

---

**令和6年 5月**

**総務を担当する副学長、教育を担当する副学長、学術情報を担当する副学長（附属図書館長）**

## (目次)

I 本報告書について	p. 3
II 評価項目の分析	
(1) 評価項目 1 : 施設・設備の整備	p. 4
(2) 評価項目 2 : 実習施設等	p. 8
(3) 評価項目 3 : 施設及び設備の安全性	p. 10
(4) 評価項目 4 : ICT 環境	p. 13
(5) 評価項目 5 : 附属図書館	p. 15
(6) 評価項目 6 : 自主的学習環境	p. 17
(7) 評価項目 7 : キャンパスマスタープラン	p. 20
III 関係者からの意見聴取	p. 22

# I 本報告書について

## 【概要】

- ・本報告書は、国立大学法人お茶の水女子大学の内部質保証に関する基本方針、及び国立大学法人お茶の水女子大学の施設設備に関する自己点検・評価実施要項に基づき実施する自己点検・評価の結果をまとめたものである。

## 【作成担当】

区 分		推進責任者	担 当
評価項目 1：施設・設備の整備		総務を担当する副学長	施設課、学務課、図書・情報課
評価項目 2：実習施設等		総務を担当する副学長	学務課
評価項目 3：施設及び設備の安全性		総務を担当する副学長	施設課、企画戦略課（危機管理担当）
評価項目 4：ICT 環境		学術情報を担当する副学長 （附属図書館長）	図書・情報課、情報基盤センター
評価項目 5：附属図書館		学術情報を担当する副学長 （附属図書館長）	図書・情報課、附属図書館運営委員会
評価項目 6：自主的学習環境		教育を担当する副課長	学務課、図書・情報課
評価項目 7：キャンパスマスタープラン		総務を担当する副課長	施設課、キャンパスマスタープラン検討会及び作業部会
関係者からの意見聴取	卒業（修了）時アンケート 〔施設関係及び附属図書館関係〕	総務を担当する副学長 教育を担当する副学長 学術情報を担当する副学長 （附属図書館長）	学務課、教学 IR・教育開発・学修支援センター、図書・情報課
	環境調査アンケート		施設課

## Ⅱ-(1) 評価項目 1：施設・設備の整備

### 【評価項目の観点等】

評価の観点	<p>教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備を法令に基づき整備していること。</p> <p>(参考：独立行政法人大学改革支援・学位授与機構「大学機関別認証評価大学評価基準 分析項目 4-1-1」)</p>
観点到に係る判断 (自己評価)	<p><input checked="" type="checkbox"/> 上記の観点を満たしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 上記の観点を満たしていない。</p>
分析の手順	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校地、校舎の基準面積について、設置基準で規定されている面積に係る基準を満たしていることを確認する。</li> <li>・施設・設備としては、教育の必要に応じて、大学設置基準に規定されている校地、校舎、運動場等が備えられていることを確認する。</li> </ul> <p>※教育課程に応じて講義・演習・実験・実習または実技を行うのに必要な教室を備えていることを確認する。</p> <p>※基幹教員制度を導入している場合は、基幹教員及び専ら当該大学の教育研究に従事する教員に対して研究室を備えていることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同課程を置いている場合は、その状況が該当する設置基準を満たしていることを確認する。</li> <li>・夜間において授業を実施している課程又は大学院において大学院設置基準第 14 条の特例を適用している場合は、これら施設・設備の利用方法、利用時間等を確認する。</li> <li>・2以上のキャンパスで教育を実施している場合は、各々の実施体制、実施上の工夫や学生移動の状況等を確認する。</li> </ul>
必須の記載項目・ 根拠資料	<p>【必須の記載項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間の授業又は2以上のキャンパスでの教育の実施状況一覧</li> <li>・認証評価共通基礎データ様式【大学（専門職大学含む）用】様式 1（「施設・設備等」抜粋）</li> </ul> <p>【必須の根拠資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当なし</li> </ul>
評価方法	<p>「上記の観点を満たしている」と判断する基準は以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「評価の観点」及び分析の手順」に沿って、根拠となるデータ・資料を示している。</li> <li>・根拠となるデータ・資料を示すことができない場合、対応するための計画及びその進捗（プロセス）、計画を立てることが不可能である理由が特記事項に記述されている。</li> </ul> <p>(参考：独立行政法人大学改革支援・学位授与機構「大学機関別認証評価 評価実施手引書（機構評価担当者用）」第 2 章評価要項（1）－書面調査」)。</p>

【観点に係る実施状況／根拠資料・データ】

・夜間の授業又は2以上のキャンパスでの教育の実施状況一覧【担当：学務課】

学部・研究科名	キャンパス	実施の状況（実施体制、利用時間等）
大学院人間文化創成科学研究科生活工学共同専攻	お茶の水女子大学 奈良女子大学	遠隔地での講義を実施する際には遠隔講義システムを活用している。学生にはシステムのマニュアルを配付し、講義の際、学生自身でシステムの立ち上げ・通信ができるよう指導している。講義以外にも、研究指導にも活用されている。祝休日のシステム稼働（不定期）も見られ、大学院設置基準第14条（教育方法の特例）（以下、「第14条特例」という。）として、学習者の状況に柔軟に配慮した講義・指導が実現されている。

・認証評価共通基礎データ様式【大学（専門職大学含む）用】様式1（「施設・設備等」抜粋）【担当：施設課、図書・情報課】

施設・設備等	校地等	区分	基準面積	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	備考
		校舎敷地面積	—	74,301 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	74,301 m <sup>2</sup>	
		運動場用地	—	6,554 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	6,554 m <sup>2</sup>	
		校地面積計	25,310 m <sup>2</sup>	80,855 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	80,855 m <sup>2</sup>	
		その他	—	53,497 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	53,497 m <sup>2</sup>	
校舎等	校舎	区分	基準面積	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
		校舎面積計	15,321 m <sup>2</sup>	59,073 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	59,073 m <sup>2</sup>	
等	教員研究室	学部・研究科等の名称		室数				
		文教育学部		67 室				
		理学部		95 室				
		生活科学部		38 室				
		人間文化創成科学研究科		3 室				
	教室等施設	区分	講義室	演習室	実験演習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
		大塚1教室等施設	54 室	62 室	161 室	12 室	2 室	
		湾岸生物教育研究所教室等施設	0 室	1 室	1 室	0 室	0 室	
		図書館等の名称	面積	閲覧座席数				
		附属図書館	5,325 m <sup>2</sup>	617 席				
図書資料等	図書館等の名称	図書〔うち外国書〕	学術雑誌〔うち外国書〕	電子ジャーナル〔うち国外〕				
	附属図書館	666,032 [ 178,267 ] 冊	18,793 [ 11,058 ] 種	9,574 [ 9,572 ] 種				
	計	666,032 [ 178,267 ] 冊	18,793 [ 11,058 ] 種	9,574 [ 9,572 ] 種				
	体育館	面積						
	大塚1	1,390 m <sup>2</sup>						

※ 本記載項目については、以下の注意事項を踏まえて作成している。

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構作成「認証評価共通基礎データ様式【大学（専門職大学含む）用】様式1」から抜粋

[注]

17 「校舎敷地面積」、「運動場用地」の欄は、大学設置基準上算入できるものを含めてください。

18 寄宿舍その他大学の附属病院以外の附属施設（大学設置基準第39条第1項を参照）用地、附置研究所周地、駐車場、大学生協用地など大学設置基準上「校地」に算入できない面

積は「校地等」の「その他」の欄に記入してください。

19 「校舎面積計」の欄は、学校基本調査の学校施設調査票（様式第 20 号）における学校建物の用途別面積の「校舎」の面積の合計としてください。

20 校地面積、校舎面積の「専用」の欄には、当該大学が専用で使用する面積を記入してください。「共用」の欄には、当該大学が他の学校等と共用する面積を記入してください。「共用する他の学校等の専用」の欄には、当該大学の敷地を共用する他の学校等が専用で使用する敷地面積を記入してください。

21 「基準面積」の欄は、大学設置基準第 37 条における「大学における校地」の面積（附属病院以外の附属施設用地及び寄宿舍の面積を除く。）または大学通信教育設置基準第 10 条の校舎等の施設の面積としてください。

22 「教員研究室」の欄は、専任教員数に算入していない教員の研究室は記入する必要はありません。なお、複数の助教等が共同して 1 室で執務する場合は、教員数を室数に換算してください。

-----

#### 【観点に係る特記事項・補足事項】

- ・令和 4 年度の自己点検・評価報告書における「学術雑誌[うち外国書]」の数値について、本来、電子ジャーナルを含めた学術雑誌（外国雑誌）の総数を記載すべきところ、冊子のみでの数値を記載していた。電子ジャーナルを含めた令和 4 年度分の「学術雑誌 [うち外国書]」の数値は、20,273[13,045]種となる。

## Ⅱ-(2) 評価項目 2：実習施設等

### 【評価項目の観点等】

観点	法令が定める実習施設等が設置されていること。 (参考：独立行政法人大学改革支援・学位授与機構「大学機関別認証評価大学評価基準 分析項目 4-1-2」)
観点到係る判断 (自己評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 上記の観点を満たしている。 <input type="checkbox"/> 上記の観点を満たしていない。
分析の手順	・特定の学部又は学科に置かれる組織については、大学設置基準第 39 条に基づき設置が必要とされる附属学校や附属病院等が設置されていることを確認する。
必須の記載項目・ 根拠資料	<b>【必須の記載項目】</b> ・附属施設等一覧 <b>【必須の根拠資料】</b> ・該当なし
評価方法	「上記の観点を満たしている」と判断する基準は以下のとおりとする。 ・「評価の観点」及び分析の手順」に沿って、根拠となるデータ・資料を示している。 ・根拠となるデータ・資料を示すことができない場合、対応するための計画及びその進捗（プロセス）、計画を立てることが不可能である理由が特記事項に記述されている。 (参考：独立行政法人大学改革支援・学位授与機構「大学機関別認証評価 評価実施手引書（機構評価担当者用）」第 2 章評価要項（1）－書面調査」。)

### 【観点到係る実施状況／根拠資料・データ】

#### ・附属施設等一覧【担当：学務課】

学部又は学科名	附属施設
(該当なし)	(該当なし)

### 【観点に係る特記事項・補足事項】

- ・本学は、大学設置基準第 39 条の条文に記載されている「学部又は学科」を設置していないことから、観点に係る実施状況について「該当なし」と判断する。

## Ⅱ－(3) 評価項目 3：施設及び設備の安全性

### 【評価項目の観点等】

観点	施設・設備における安全性について配慮していること。 (参考：独立行政法人大学改革支援・学位授与機構「大学機関別認証評価大学評価基準 分析項目 4-1-3」)
観点到係る判断 (自己評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 上記の観点を満たしている。 <input type="checkbox"/> 上記の観点を満たしていない。
分析の手順	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備における耐震化については、評価実施年度の耐震化率を確認する。</li> <li>・耐震基準を満たしていない場合は、その理由と改善のための計画について確認する。</li> <li>・施設・設備の老朽化に対する対応の状況について確認する。</li> <li>・外灯や防犯カメラの設置等、各大学固有の事情等に応じて安全・防犯面への配慮がなされていることを確認する。</li> <li>・施設・設備のバリアフリー化について、障害のある学生等の利用者が円滑に利用できるよう配慮がなされていることを確認する。</li> <li>・その他施設・設備に法令上の要件が課されている場合は、適切な管理運営の状況を確認する。</li> </ul>
必須の記載項目・ 根拠資料	<p>【必須の記載項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備の耐震化、バリアフリー化等の整備状況（耐震化、バリアフリー化、老朽化・維持管理）</li> <li>・安全・防犯面への配慮の状況（防犯・安全面）</li> </ul> <p>【必須の根拠資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当なし</li> </ul>
評価方法	<p>「上記の観点を満たしている」と判断する基準は以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「評価の観点」及び分析の手順」に沿って、根拠となるデータ・資料を示している。</li> <li>・根拠となるデータ・資料を示すことができない場合、対応するための計画及びその進捗（プロセス）、計画を立てることが不可能である理由が特記事項に記述されている。</li> </ul> <p>(参考：独立行政法人大学改革支援・学位授与機構「大学機関別認証評価 評価実施手引書（機構評価担当者用）「第2章評価要項（1）－書面調査」」)。</p>

【観点に係る実施状況／根拠資料・データ】

・施設・設備の耐震化、バリアフリー化等の整備状況【担当：施設課】

事項	キャンパス	整備状況（※主要なキャンパスごとの耐震化率を記載）	備考（整備不十分の場合の対応状況等）
耐震化	大塚キャンパス	令和5年度耐震化率：100%	（なし）
バリアフリー化	大塚キャンパス	<p>エレベータ設置、自動ドア設置、多目的・オストメイト用トイレ設置、身体障害者専用駐車場設置、スロープ、白杖利用者向けのことばの地図、点字ブロック</p> <p>※ 大学HP「交通アクセス・キャンパスマップ」において、バリアフリーマップを掲載している。</p> <p><a href="https://www.ocha.ac.jp/access/ochaaccessibility.html">https://www.ocha.ac.jp/access/ochaaccessibility.html</a></p> <p>※ 大学HP「交通アクセス・キャンパスマップ」において、白杖利用者向けのことばの地図を掲載している。</p> <p>(1) 茗荷谷駅改札前から德音堂（きいんどう）まで</p> <p><a href="https://www.ocha.ac.jp/access/textmap1.html">https://www.ocha.ac.jp/access/textmap1.html</a></p> <p>(2) 茗荷谷駅改札前から入試課まで</p> <p><a href="https://www.ocha.ac.jp/access/textmap2.html">https://www.ocha.ac.jp/access/textmap2.html</a></p> <p>(3) 茗荷谷駅改札前から学生キャリア支援課まで</p> <p><a href="https://www.ocha.ac.jp/access/textmap3.html">https://www.ocha.ac.jp/access/textmap3.html</a></p>	（なし）
老朽化・維持管理	大塚キャンパス	<p>計画的な改修及び定期的な保守点検の実施</p> <p>《大規模改修等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・附属図書館改修（平成29年度）</li> <li>・理学部1号館改修（令和2～3年度）</li> <li>・旧国際学生宿舎（板橋区・大山寮）の老朽化に伴う廃止、新学生寮の建設（令和4年度開寮）</li> <li>・文教育学部1号館改修（令和4～6年度）</li> </ul>	文教育学部1号館改修について、当初令和5年度中の完了を予定していたが、電気配線用ケーブルの供給量の全国的な不足の影響を受け、工事の遅延が発生した。令和6年5月末完成。

・安全・防犯面への配慮の状況【担当：施設課、企画戦略課（危機管理担当）】

事項	キャンパス	配慮の状況
防犯・安全面	大塚キャンパス	防犯カメラ設置、外灯設置、守衛所設置、入退館システムの導入、教職員専用ストラップの着用・入構時身分証明書の提示、枯木伐採、樹木剪定、ブロック塀の安全点検、セキュリティポール整備

【観点に係る特記事項・補足事項】

・特になし。

## Ⅱ－(4) 評価項目 4：ICT 環境

### 【評価項目の観点等】

観点	<p>教育研究活動を展開する上で必要な ICT 環境を整備し、それが有効に活用されていること。</p> <p>(参考：独立行政法人大学改革支援・学位授与機構「大学機関別認証評価大学評価基準 分析項目 4-1-4」)</p>
観点到係る判断 (自己評価)	<p><input checked="" type="checkbox"/> 上記の観点を満たしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 上記の観点を満たしていない。</p>
分析の手順	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信におけるコミュニケーションの重要性を踏まえつつ、教職員及び学生が授業内外において簡単にインターネットに接続できる環境の整備状況を含め、大学において編成された教育課程の遂行に必要な ICT 環境の整備状況や活用状況を確認する。</li> <li>・整備状況については、ICT 環境の整備充実に向けた取組に加え、これらを維持・管理するためのメンテナンスやセキュリティ管理が行われているかについて確認する。</li> <li>・授業管理を支援するための統合化されたオンラインシステム等の学習支援環境の基盤の ICT 化が行われている場合は、その整備と活用の状況を含めて確認する。</li> </ul> <p>※学術情報基盤実態調査（コンピュータ及びネットワーク編）への回答内容を資料として活用。</p> <p>※ICT (Information and Communication Technology) とは、情報・通信に関する技術一般の総称。</p>
必須の記載項目・ 根拠資料	<p><b>【必須の記載項目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当なし</li> </ul> <p><b>【必須の根拠資料】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学術情報基盤実態調査（コンピュータ及びネットワーク編）</li> </ul>
評価方法	<p>「上記の観点を満たしている」と判断する基準は以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「評価の観点」及び分析の手順」に沿って、根拠となるデータ・資料を示している。</li> <li>・根拠となるデータ・資料を示すことができない場合、対応するための計画及びその進捗（プロセス）、計画を立てることが不可能である理由が特記事項に記述されている。</li> </ul> <p>(参考：独立行政法人大学改革支援・学位授与機構「大学機関別認証評価 評価実施手引書（機構評価担当者用）」第 2 章評価要項（1）－書面調査」)。</p>

**【観点に係る実施状況／根拠資料・データ】**

・根拠資料・データ一覧【担当：図書・情報課、情報基盤センター】

(※各根拠資料・データについては、学内者のみの資料とする。)

資料番号	資料名	担当事務	備考
■学術情報基盤実態調査（コンピュータ及びネットワーク編）			
II-4-1	・令和5年度学術情報基盤実態調査（コンピュータ及びネットワーク編）	図書・情報課	

**【観点に係る特記事項・補足事項】**

・特になし。

## Ⅱ-(5) 評価項目 5 : 附属図書館

### 【評価項目の観点等】

観点	大学組織の一部としての図書館において、教育研究上必要な資料を利用可能な状態に整備し、有効に活用されていること。 (独立行政法人大学改革支援・学位授与機構「大学機関別認証評価大学評価基準 分析項目 4-1-5」)
観点到係る判断 (自己評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 上記の観点を満たしている。 <input type="checkbox"/> 上記の観点を満たしていない。
分析の手順	・ 図書館を中心に図書等の資料が系統的に整備され、活用できる状態になっていることを確認する。
必須の記載項目・ 根拠資料	<b>【必須の記載項目】</b> ・ 該当なし  <b>【必須の根拠資料】</b> ・ 学術情報基盤実態調査 (大学図書館編)
評価方法	「上記の観点を満たしている」と判断する基準は以下のとおりとする。 ・ 「評価の観点」及び分析の手順」に沿って、根拠となるデータ・資料を示している。 ・ 根拠となるデータ・資料を示すことができない場合、対応するための計画及びその進捗 (プロセス)、計画を立てることが不可能である理由が特記事項に記述されている。  (参考: 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構「大学機関別認証評価 評価実施手引書 (機構評価担当者用)」「第2章評価要項 (1) - 書面調査」)。

### 【観点到係る実施状況／根拠資料・データ】

#### ・ 根拠資料・データ一覧【担当: 図書・情報課、附属図書館運営委員会】

(※各根拠資料・データについては、学内者のみの資料とする。)

資料番号	資料名	担当事務	備考
■ 学術情報基盤実態調査 (大学図書館編)			
Ⅱ-5-1	・ 令和5年度学術情報基盤実態調査 (大学図書館編)	図書・情報課	

**【観点に係る特記事項・補足事項】**

- ・特になし。

## Ⅱ-(6) 評価項目 6：自主的学習環境

### 【評価項目の観点等】

観点	<p>自習室、グループ討議室、情報機器室、教室・教育設備等の授業時間外使用等による自主的学習環境が整備され、効果的に利用されていること。</p> <p>(参考：独立行政法人大学改革支援・学位授与機構「大学機関別認証評価大学評価基準 分析項目 4-1-6」)</p>
観点到係る判断 (自己評価)	<p>■ 上記の観点を満たしている。</p> <p>□ 上記の観点を満たしていない。</p>
分析の手順	<p>・自主的学習環境の整備状況（部屋数、机、パソコン等の台数等）については、その環境を必要とする学生が効果的に利用できるような状態になっていることを確認する。</p> <p>※自主的学習環境の整備等、特色ある学習環境の構築により成果が得られている場合は、その内容について確認する。</p>
必須の記載項目・ 根拠資料	<p>【必須の記載項目】</p> <p>・自主的学習環境整備状況一覧</p> <p>【必須の根拠資料】</p> <p>・該当なし</p>
評価方法	<p>「上記の観点を満たしている」と判断する基準は以下のとおりとする。</p> <p>・「評価の観点」及び分析の手順に沿って、根拠となるデータ・資料を示している。</p> <p>・根拠となるデータ・資料を示すことができない場合、対応するための計画及びその進捗（プロセス）、計画を立てることが不可能である理由が特記事項に記述されている。</p> <p>(参考：独立行政法人大学改革支援・学位授与機構「大学機関別認証評価 評価実施手引書（機構評価担当者用）」第2章評価要項（1）一書面調査」)。</p>

### 【観点到係る実施状況／根拠資料・データ】

- ・自主的学習環境整備状況一覧【担当：学務課、図書・情報課】

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間	担当事務
Sky Global Learning Commons	大塚キャンパス 附属図書館	70 席	自習用デスク・椅子、プロジェクター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月～金 8:45～21:00 (授業のない日は 17:00 まで)</li> <li>・土 10:00～18:00 (夏・冬・春期休業期間中は閉館)</li> <li>・日 13:00～18:00 (夏・冬・春期休業期間中は閉館)</li> </ul>	図書・情報課
ミニコモنز 1～3	大塚キャンパス 附属図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニコモنز 1 : 最大 12 席</li> <li>・ミニコモنز 2・3 : 最大 6 席</li> </ul>	自習用デスク・椅子	同上	図書・情報課
PC スクエア	大塚キャンパス 附属図書館	38 席	PC (28 台)、プリンタ、閲覧席 10 席 上記のほか、附属図書館内利用のためのノート PC 自動貸出ロッカー (2 か所、計 73 台) を設置	同上	図書・情報課
プレゼンテーションルーム	大塚キャンパス 附属図書館	約 30 席 (予約制)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブル付椅子 30 脚、マイク、プロジェクター、講師用椅子、講師用演台、壁固定ホワイトボード</li> <li>・壁面またはホワイトボードにプロジェクター投影可</li> </ul>	同上	図書・情報課
クワイエットラーニングルーム	大塚キャンパス 附属図書館	123 席	自習用デスク・椅子	同上	図書・情報課
アカデミックラーニングスペース	大塚キャンパス 附属図書館	101 席	自習用デスク・椅子	同上	図書・情報課
大学院生用研究スペース	大塚キャンパス	10 席	PC (7 台)	同上	図書・情報課

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間	担当事務
	附属図書館				
ランゲージ・スタディ・コモンズ	大塚キャンパス 共通講義棟 3号館 101、 102、103、105 室 外国語教育センター	外国語ワークスペース・アテナー：23 席 外国語ワークスペース・パルテノン：33 席	PC ブース (オンライン学習、外国語教材学習、外国語学習アドバイザーとの面談等)、検定対策教材、外国語 DVD 教材等	月～金 10:00～17:00	学務課
Active Learning Studio (ALS)	大塚キャンパス 共通講義棟 1号館 106・ 107 室	予約制 106 室 22 席 107 室 18 席	無線 LAN、電源、プレゼンテーション用機器、電子白板	月～金 9:00～18:30	学務課
共同学生研究室	大塚キャンパス 人間文化創成科学研究科・全学共用研究棟 201 室	20 席	ブース 20 席、ロッカー、書棚	特に定めていない	学務課 (ファカルティ支援担当)
コモンズ 1 コモンズ 2	大塚キャンパス 国際交流留学生プラザ	44 席	無線 LAN、電源、デスク、椅子	国際交流留学生プラザ開館時間 (概ね 9:00～20:00)	学務課
アクティブラーニングスペース	理学部 1号館 138 室	26 席	大型液晶モニター 2 台、ホワイトボード 2 台、グループワーク用机 9 台	特に定めていない	学務課 (ファカルティ支援担当)

### 【観点に係る特記事項・補足事項】

・特になし。

## Ⅱ-(7) 評価項目 7：キャンパスマスタープラン

### 【評価項目の観点等】

観点	<p>キャンパスマスタープランに基づく施設マネジメントが適切に行われていること。</p> <p>(参考：お茶の水女子大学第4期中期計画【K22】・評価指標【S22-2】)</p>
観点到係る判断 (自己評価)	<p><input checked="" type="checkbox"/> 上記の観点を満たしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 上記の観点を満たしていない。</p>
分析の手順	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンパスマスタープラン 2021 に基づく全学的な施設マネジメントを推進し、取組状況を毎年度自己点検・評価することによって達成度を確認する。</li> </ul>
必須の記載項目・ 根拠資料	<p><b>【必須の記載項目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンパスマスタープラン 2021 に基づく全学的な施設マネジメントの状況</li> </ul> <p><b>【必須の根拠資料】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当なし</li> </ul>
評価方法	<p>「上記の観点を満たしている」と判断する基準は以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「評価の観点」及び分析の手順に沿って、根拠となるデータ・資料を示している。</li> <li>・根拠となるデータ・資料を示すことができない場合、対応するための計画及びその進捗（プロセス）、計画を立てることが不可能である理由が特記事項に記述されている。</li> </ul> <p>(参考：独立行政法人大学改革支援・学位授与機構「大学機関別認証評価 評価実施手引書（機構評価担当者用）」第2章評価要項（1）－書面調査」)。</p>

【観点に係る実施状況／根拠資料・データ】

・キャンパスマスタープラン 2021 に基づく全学的な施設マネジメントの状況【担当：施設課、キャンパスマスタープラン検討会及び作業部会】

工事等の件名	工事等の内容	工事等の期間	工事等の進捗状況	備考（工事等の特記事項や、進捗状況の補足等）	マスタープランの記載箇所
文教育学部 1 号館（Ⅱ期） 改修工事	文教育学部 1 号館の 1～4 階の 内部外部について、建築、電気、 機械設備の改修を行った。	R5. 7. 24～R6. 5. 31	<input checked="" type="checkbox"/> 予定どおり実施した（完了済） <input type="checkbox"/> 予定どおり実施している（継続中） <input type="checkbox"/> 予定どおり実施できていない	当初令和 5 年度中の完了を予定していたが、電気配線用ケーブルの供給量の全国的な不足の影響を受け、工事の遅延が発生した。	p. 48
同窓会館跡地整備事業	大学会館（旧同窓会館）の敷地について、民間事業者による施設整備を行う。	未定	<input type="checkbox"/> 予定どおり実施した（完了済） <input checked="" type="checkbox"/> 予定どおり実施している（継続中） <input type="checkbox"/> 予定どおり実施できていない	民間事業者の公募を実施している。	p. 48

【観点に係る特記事項・補足事項】

・特になし

### Ⅲ 関係者からの意見聴取

※ 「国立大学法人お茶の水女子大学における内部質保証に関する基本方針」第6条、及び「国立大学法人お茶の水女子大学における施設設備に関する自己点検・評価実施要項」第3条を踏まえ、令和5年度に関係者（学生、卒業（修了）生、卒業（修了）生の主な雇用者等）から意見聴取を行った結果等を以下に記載する。

・意見聴取の内容・結果、聴取結果を踏まえた対応等

(※記載内容は令和6年5月末時点。聴取結果を踏まえた対応等のうち、検討中・対応中としている事項については、次年度以降も継続して対応状況を記載することとする。)

意見聴取の内容・結果等					聴取結果を踏まえた対応等		
実施時期	実施主体	聴取対象者	実施内容 (アンケート件名等)	聴取結果 (意見の内容)	対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況
R6.2 ～ R6.3	学務課及び教 学 IR・教育開 発・学修支援セ ンター	学部卒業予定者 大学院修了予定者	卒業（修了）時アン ケート〔施設関係及 び附属図書館関係〕 【根拠資料Ⅲ-1-1】	聴取対象者（卒業修了予定 者）の教育施設・教育設備へ の評価（満足度）は概ね高い ものであったものの、学内の ICT設備(学内Wi-Fi、コンピ ュータ、情報コンセントな ど)は69.9%、「図書館の蔵 書」は75.4%と他の項目と比 べると低い値を示していた。	聴取対象者からの聴取結果（高い評 価）を踏まえ、それを維持するべく引 き続き学習環境（特に学内Wi-Fi等 のICT設備を重点的に）の整備や予 算の確保につとめていくこととし た。	学務課を中心と した関係部署	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他（）
R5.6	施設課	学生	環境調査アンケー ト【根拠資料Ⅲ-2- 1、Ⅲ-2-2】	講義室のエアコンについて、 省エネルギーのために90分 の自動停止設定がされてい るが、授業が始まる前からエ アコンをつけておくと授業	授業以外は講義室を使用せず、図書 館等で自習を行うよう促す。	学務課	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他（）

意見聴取の内容・結果等					聴取結果を踏まえた対応等		
実施時期	実施主体	聴取対象者	実施内容 (アンケート件名等)	聴取結果 (意見の内容)	対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況
				中にエアコンが切れるため、運用を検討してほしい。			
R5.9	施設課	学生・教職員	施設利用者満足度アンケート（理学部1号館改修後） 【根拠資料Ⅲ-3-1】	改修時に換気扇を整備したことにより建物全体が陰圧となっており、風切り音や虫の侵入があるため改善してほしい。	各階廊下に給気口を設け、扉や窓の隙間からの給気量を低減することにより、風切り音や虫の侵入を抑制する。	施設課	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他（）

・過年度に検討中・対応中としている事項への対応状況

意見聴取の内容・結果等					聴取結果を踏まえた対応等			
実施時期	実施主体	聴取対象者	実施内容 (アンケート件名等)	聴取結果 (意見の内容)	令和4年度対応計画	令和5年度対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況
R5.2-3	学務課及び教育学IR・教育開発・学修支援センター	学部卒業予定者 大学院修了予定者	卒業（修了）時アンケート〔施設関係及び附属図書館関係〕	【図書・情報-5】電子ジャーナルのタイトル数が少ない。（p.101 Q28）	全学的な視点での電子ジャーナルの選定に向けて、今後の方針案を検討する予定。 ※今後検討課題のため、資料なし	各学科、コース、講座を対象に「2025年以降の電子リソース収集方針決定に関する調査」を実施した（令和6年1月）。その結果をもとに、本学の電子リソース収集方針を作成し、適切な電子リソースの収集を行っていく予定。	図書・情報課	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他（）

意見聴取の内容・結果等					聴取結果を踏まえた対応等			
実施時期	実施主体	聴取対象者	実施内容 (アンケート件名等)	聴取結果 (意見の内容)	令和4年度対応計画	令和5年度対応計画	計画の実施主体	計画の進捗状況
						<b>【根拠資料 Ⅲ-4-1】</b> なお、令和5年度は、価格高騰により令和5年12月にWiley電子ジャーナルパッケージを中止したため、令和4年度の電子ジャーナル数11,038種（うち国外11,036種）に対して、9,574種（うち国外9,572種）と減少している。		

・意見聴取に関する根拠資料・データ（※各根拠資料・データについては、学内者のみの資料とする。）

資料番号	資料名	担当事務	備考
Ⅲ-1-1	2023年度卒業（修了）時アンケート〔施設関係及び附属図書館関係〕	学務課	
Ⅲ-2-1	環境報告書2023（環境調査アンケート）	施設課	
Ⅲ-2-2	2023年度環境調査アンケート結果	施設課	
Ⅲ-3-1	施設利用者満足度アンケート結果（理学部1号館改修後）	施設課	
Ⅲ-4-1	令和5年度第3回附属図書館運営委員会資料「電子リソース収集方針に関する調査回答結果」	図書・情報課	

以上